

令和5年度 川西市防災訓練 実施報告書



日時：令和5年11月26日（日）【1部】 9時30分から10時20分まで
【2部】 10時25分から12時35分まで
場所：川西市立清和台南小学校（メイン会場）
川西市立清和台中学校（サブ会場）

かわにし ^新時代へ

川西市

令和5年度川西市防災訓練 実施報告

【訓練参加者】

《内訳》避難所運営訓練参加者（地域住民）	219名
地域役員・運営関係者（地域住民）	約40名
地域一般参加者（地域住民）	約50名
市内地区自主防災組織（清和台除く）	約35名
市・訓練関係機関	99名
	<hr/>
	約450名

【第1部】

1 避難所運営訓練（9時30分～10時10分）

（1）訓練目的

清和台地区自主防災会が作成した地区防災計画を基に、避難所運営訓練を実施し検証することで、実災害に迅速かつ的確に対応できることを目的とする。

（2）訓練内容

8時30分ごろ川西市で震度6弱を観測地震が発生し、多大な被害が出ていると想定する。

訓練参加者は、家族などの安否を確認し、最寄りの一時避難場所に避難する。

その後、各地区のリーダーが無線機を使用し避難者状況を清和台地区対策本部に報告、避難経路の被害状況を確認しながら、避難所である清和台南小学校体育館に集合する。

体育館到着後は、随時、受付を行なった後に防災資器材（エアーストレッチャー、簡易ベッド、間仕切りテント等）の説明を危機管理課職員より受ける。

（3）訓練参加者

川西市総務部	3名
川西市福祉部	2名
川西市地区対策班（清和台地区）	3名
避難所運営訓練参加者	219名
地域役員・運営関係者	約40名

(4) 訓練の様子



【避難者の受付】



【会場全体の様子①】



【会場全体の様子②】



【ストレッチャーの説明①】



【ストレッチャーの説明②】



【間仕切りテントの設営体験】

【第2部】

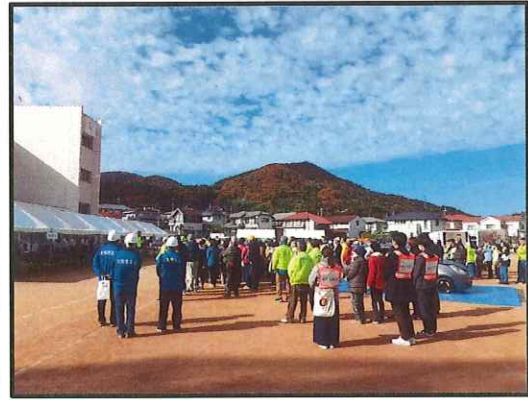
1 開会式 (10時25分～10時35分)

川西市 越田謙治郎市長 挨拶

清和台地区コミュニティ協議会 武内会長 挨拶



【市長挨拶】



【開会式の様子】

2 シェイクアウト訓練（10時35分～10時40分）

会場に緊急地震速報の音源を流し、『低い姿勢をとり』『頭を守り』『動かない』の行動を実施し、災害時に自身の身を守る行動を確認する。



3 救出救助訓練（10時40分～11時05分）

（1）訓練想定・訓練目的

和歌山県沖を震源地とするマグニチュード9の地震が発生し、川西市においても震度6弱を観測。

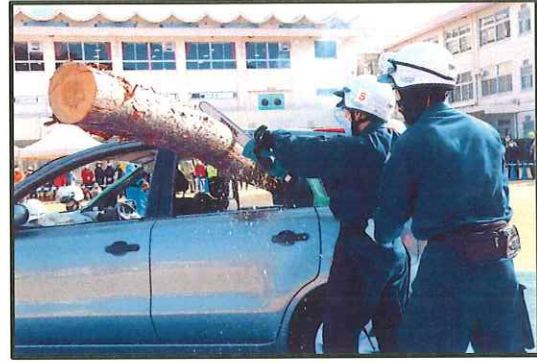
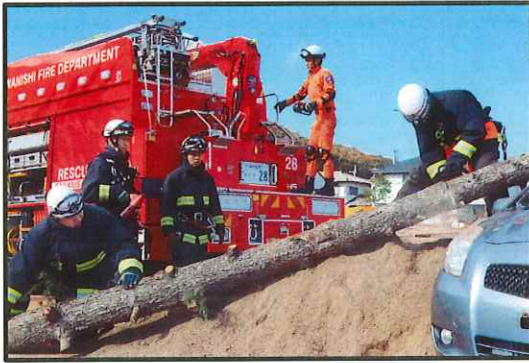
連日の大雨の影響も重なり倒木及び土砂災害が発生し、車両2台が巻き込まれ、消防機関と警察機関が要救助者の救出等を行う。

また、要救助者の救急搬送のため兵庫県消防防災航空隊のヘリコプターがサブ会場である清和台中学校のグラウンドに着陸し、救出した要救助者1名を引き継ぐ訓練を実施し、関係機関との連携強化に務め、実災害に備える。

（2）訓練参加者

川西市消防本部	5台	26名
川西警察署	1台	7名
兵庫県警察本部		2名
兵庫県消防防災航空隊	1機	6名
(株)ふるさと創世研究開発機構		3名

(3) 訓練の様子



【チェーンソーで倒木を切断する様子】



【救助活動時の様子】



【救急活動時の様子】

4 防災個別訓練 (11時15分～12時20分)

(1) 訓練目的

清和台地域の住民が1グループ約50名程度のグループを4グループ編成し、【初期消火訓練ブース】【炊き出し】【展示ブース】【体験ブース】の各ブースを15分ごとにラリー形式で順次巡回し、実災害に備える。

(2) 初期消火訓練ブース

川西市消防本部 1名
川西市消防団 8名



【水消火器や実消火器を使用し消火訓練を実施】

(3) 炊き出しブース

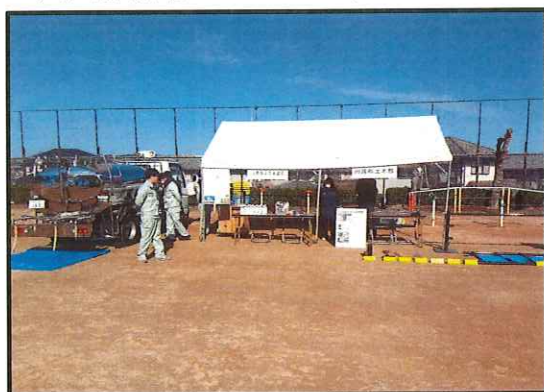
清和台地域住民 10名



【600食分の炊き出し（豚汁とおにぎり）を用意】

(4) 展示ブース

- 川西市土木部 2名
- 川西市上下水道局 4名
- 川西市消防本部 7名
- 川西市消防団 8名
- 川西警察署 3名



【土木部・上下水道局ブース】



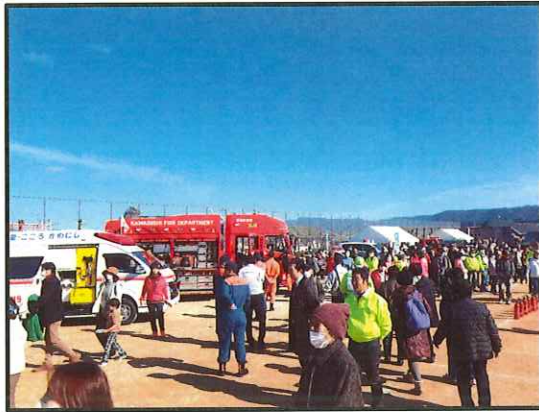
【土木部：災害ガードレールの展示】



【上下水道局：給水車の展示】



【川西警察・川西市消防団ブース】



【消防本部：救助工作車、救急車の展示】



【川西警察：パトカー、白バイ、RV車の展示】

(5) 訓練参加者（体験ブース）

- | | |
|-----------|----|
| 川西市消防団 | 4名 |
| かわにし防災士の会 | 4名 |
| プロセブン株式会社 | 2名 |
| 六甲砂防事務所 | 3名 |



【川西市消防団】
煙体験ハウス



【かわにし防災士の会】
家具固定相談、ペット防災相談



【プロセブン株式会社】

南海トラフ地震を想定した震度7を体験



【六甲砂防事務所】

土石流模型装置を活用した土石流の講座

5 閉会式（12時25分～12時35分）

川西警察署 近藤警備課長 訓練講評

川西市消防本部 石倉消防長 訓練講評

清和台地区自主防災会 中村会長 挨拶



【近藤警備課長講評】



【石倉消防長講評】

6 訓練総評

今回の防災訓練を計画するにあたり、川西市には「実際に災害が起こった時の対応や環境に出来る限り即した訓練を実施したい」「幅広い世代に訓練に参加してもらい、地域の防災意識を高めたい」との思いがあり、清和台地域には「地域だけで実施する防災訓練は予算等に限りがあり、毎年、同じような訓練になってしまっている」といった思いがあった。

そのため、双方の課題を解決することを目的に、市と地域が協働して防災訓練を実施することとなった。

訓練の主な内容は、地域が作成した地区防災計画をもとに地域が主体となって実施した「避難所運営訓練」、市と関係機関が連携した「救出救助訓練」、市や関係機関がバックアップし、地域住民に様々な防災に関することを体験してもらう「防災個別訓練」を実施し、双方とも目的に近づくことが出来た。

また、地域と半年以上、打ち合わせを重ねたことで、地域の特性、防災体制、防災力などを深く知ることができ、大規模災害時に、その地域がどのような体制で動いていくのかイメージが湧いたことは、市として非常に大きな成果であった。

来年度以降、地域を変更して、その地域にあった防災訓練を実施し、市と地域の課題解決に努めていく。